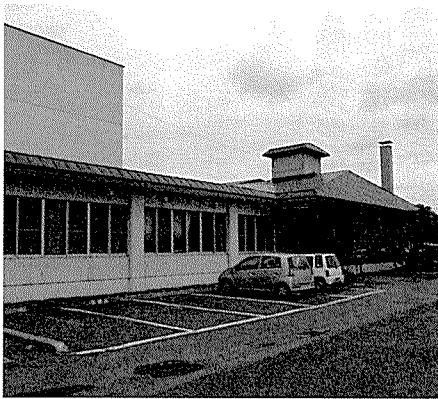




▲老人ホーム緑寿園

市民クラブ
木下八重子
議員

緑寿園の譲渡と早期の改築について

質問 昨年の第4回定例会で質問したが、その後の社会福祉事業団との協議の進捗状況と施設整備に向けた展望を伺う。

答弁 施設改修の必要性や規模、優先順位など、当面の課題について整理した上で手立てを講じていきます。いろいろな選択肢が考えられますが、市民、議会の理解を得られる形で早期に譲渡問題を解決し、施設整備についても検討していきます。

子育て支援について

質問 放課後児童クラブ（学童クラブ）の利用状況と今後の拡大について伺う。

答弁 今年の4月から開館時間を18時30分までに延長しています。それぞれの学童クラブでは5～10名程度、1～2割の方が18時以降も利用している状況。定員を超えての学童クラブでは、限られたスペースの中でどのようにすればよい多くの希望に応えることができるのか、近隣施設での拡大も視野に入れながら検討していきます。

公営住宅の入居基準について

質問 当初の入居基準を満たさなくなつた入居者を全て把握しているのか。そうした入居者をチェックするシステムはあるのか。

答弁 基準は当初入居時点での基準であり、その後に世帯構成に変更が生じて直ちに明渡し又は条件に合う住宅への住替えをしなければならぬとの規定はありません。また、収入及び世帯構成等のチェックについては毎年8月に入居者に申告を義務付けし確認を行っています。

市民クラブ
窪之内美知代
議員

市民との対話によるまちづくり

質問 政策づくりなど、市民意見の反映を目的として設置される委員会等の人選は、特殊な場合を除き公募を前提とし、極力重複を避け、一人でも多くの市民が参加できるよう選出すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 平成8年に公募制を導入、12年4月に委員会、審議会等の設置及び見直しに関する基準を設け、重複選任や年齢構成の偏り等に配慮し適正な運用に努めてきました。今後、より幅広い世代の様々な立場の市民の声を取り込んだまちづくりが重要であり、他市の公募のあり方や取組状況などを調査しながら、方策を検討します。

福祉除雪は万全な体制で

質問 吹雪等で通常より大幅な遅れが予想される時、依頼者への状況連絡と安全確認を実施すべき。また、広大な農村部を含む江部乙

地域の除雪作業者を1人から2人にすべき。対応を伺う。

答弁 「大雪時の福祉除雪サービス対応マニュアル」とそのフローを改めて作成し、委託先の社協・事業者と認識をひとつにしました。大雪時の利用者の不安軽減と避難通路確保を最優先とし、利用者周知の方法も明確にして対応します。江部乙農村部は、除雪延長が市街地に比べ長く、サービス提供体制のあり方や緊急時の対応含め、委託先の社協と協議します。

高齢者の交通手段確保について

質問 通院や買い物時の交通手段の確保にあたり、敬老特別乗車証を利用できない高齢者にも何らかのサービスを受けられるようにすべき。見通しを伺う。

答弁 町別に敬老パス保有者の3分の1の方に、ヒヤリング調査を実施した。この調査や、これまでの検討を踏まえ、ワンコイン制の継続、回数券方式への移行、タクシー利用の導入も視野に、高齢者の外出支援という視点から、財政面を含めた総合的な観点で、今年度中に方向性を導き出す努力をします。